

2020年3月3日
公立鳥取環境大学

2021年度公立鳥取環境大学入学者選抜について（予告：第3報）

2021年度公立鳥取環境大学入学者選抜について、既に予告した内容からの変更点及び追加情報を次のとおりお知らせします。

なお、内容は現時点のものであり、今後変更が生じた場合は、随時ホームページで公表します。

1. 募集人員の変更

- ・環境学部、経営学部の募集人員を各138名から各150名に変更します。

2. 入試区分の名称の変更及び新設

学校推薦型選抜をI型、II型に改称し、新たに環境学部にIII型を追加します。

入試区分名称	環境学部	経営学部
学校推薦型選抜I型	地域を限定しない推薦入試	
学校推薦型選抜II型	地域を限定した共通テストを課す推薦入試 ※鳥取県内高校に限定	
学校推薦型選抜III型 (新設：環境学部のみ)	地域を限定した推薦入試 ※鳥取県内高校に限定	—

3. 入試区分毎の募集人員の変更

(人)

		環境学部	経営学部	
一般選抜	前期日程	A方式	60	50
		B方式	10	15
	後期日程	5	10	
総合型選抜		20	20	
学校推薦型選抜	I型	30	45	
	II型	10	10	
	III型	15	—	
合計		150	150	

4. 主体性の評価方法及び調査書の活用方法について

総合型選抜及び学校推薦型選抜における「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」は面接等で評価します。また、調査書はその際の参考資料として活用します。

一般選抜においては「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価を当面延期します。

2019年12月11日
公立鳥取環境大学

2021年度公立鳥取環境大学入学者選抜について（予告：第2報）

2021年度公立鳥取環境大学入学者選抜について、既に予告した内容からの変更点及び追加情報を次のとおりお知らせします。

なお、内容は現時点のものであり、今後変更が生じた場合は、随時ホームページで公表します。

1. 英語の資格・検定試験の活用

すべての学部・学科の「一般選抜」及び「共通テストを課す学校推薦型選抜（県内高校対象）」において、英語の外部試験を利用せず、共通テストの利用のみとします。なお、共通テストの英語の配点は、「リーディング」と「リスニング」は1対1として扱います。

2019年2月13日

公立鳥取環境大学

2021年度公立鳥取環境大学入学者選抜について(予告)

2021年度公立鳥取環境大学入学者選抜を次のとおり変更します。

なお、内容は現時点のものであり、今後変更が生じた場合は、随時本学ホームページで公表します。

1. 入試区分

入試区分を以下のとおり変更します。

変更前	変更後
一般入試（前期日程・後期日程）	一般選抜（前期日程・後期日程）
AO入試	総合型選抜
推薦入試	学校推薦型選抜
	学校推薦型選抜（県内）（仮称・新設）

2. 募集人員

入試区分		募集人員		備考
		環境	経営	
一般選抜	前期日程	70 うちA方式 60 うちB方式 10	65 うちA方式 50 うちB方式 15	
	後期日程	10	10	
総合型選抜		13	13	
学校推薦型 選抜		35 うち県内高校枠 15 うち専門高校枠 8	40 うち県内高校枠 15 うち専門高校枠 8	
	【新規】 共通テストを課す 学校推薦型選抜	10	10	鳥取県内高校 対象
計		138	138	

3. 選抜日程

入試区分	出願	試験実施	合格発表
総合型選抜	9月以降	10月	11月
学校推薦型選抜	11月以降	11月下旬～12月	12月
学校推薦型選抜（県内）	1月	1月下旬～2月初旬	2月中旬
一般選抜 前期日程	1月末	2月下旬（統一）	3月上旬
一般選抜 後期日程	1月末	3月中旬	3月下旬

4. 大学入学共通テストの活用

すべての学部・学科の『一般選抜』及び『共通テストを課す学校推薦型選抜（県内高校対象）』において2021年度から実施される大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）を合否判定に活用します。

（1）一般選抜

すべての学部において共通テストを合否判定に活用します。

マークシート式問題に加え、記述式問題の結果も活用します。

国語の記述式の段階別成績評価については、その結果を点数化しマークシート式の得点に加点して活用します。

なお、加点の具体的な方法については、引き続き検討します。

数学の記述式については、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

（2）共通テストを課す学校推薦型選抜（県内高校対象）

すべての学部において共通テストを合否判定に活用します。

マークシート式問題に加え、記述式問題の結果も活用します。

国語の記述式の段階別成績評価については、その結果を点数化しマークシート式の得点に加点して活用します。

なお、加点の具体的な方法については、引き続き検討します。

数学の記述式については、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

5. 英語の資格・検定試験の活用

すべての学部・学科の『一般選抜』及び『共通テストを課す学校推薦型選抜（県内高校対象）』において大学入試センターが認定した英語の資格・検定試験の結果を合否判定に活用します。

大学入試センターが認定した全ての資格・検定試験を対象とし、大学入学共通テストの英語の得点に加点して活用します。

なお、加点の具体的な方法や障がい等のある受験者への配慮については、引き続き検討します。

6. 学力の3要素の評価

全ての入試区分において、学力の3要素を評価します。

学力の3要素

- ①「知識・技能」
- ②「思考力・判断力・表現力」
- ③「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」

7. 調査書等の活用

全ての入試区分において、調査書等（本学が提出を求める資料等も含む）を合否判定に活用します。活用方法については引き続き検討します。

8. 選抜方法

(1) 一般選抜

共通テスト及び個別学力検査等により選抜を行います。

共通テストの利用教科・科目等については、現行の大学入学センター試験で採用しているものから変更はありません。（共通テストの英語には大学入試センターが認定した英語の資格・検定試験の結果を含みます。）

個別学力検査については、現行の一般入試で課しているものから変更はありません。

(2) 総合型選抜

現行のAO入試で課しているものから変更はありません。

(3) 学校推薦型選抜

現行の推薦入試で課しているものから変更はありません。

(4) 共通テストを課す学校推薦型選抜（県内高校対象）

共通テスト及び個別学力検査等により選抜を行います。

（共通テストの英語には大学入試センターが認定した英語の資格・検定試験の結果を含みます。）

共通テストの利用教科・科目

環境学部 現行の一般入試A方式で課している教科・科目と同様です。

判定にはその中から上位3科目を採用します。

採用科目数：2又は3教科3科目（※）

※

1科目100点に換算し、活用します。

地歴、公民については第1解答科目を採用します。

理科については、基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目（第1解答に限る）のうち、高得点のものを理科の得点として利用します。

外国語の英語についてはリスニングを含みます。

（リスニング免除許可者を除く）

経営学部 現行の一般入試A方式で課している教科・科目と同様です。

判定にはその中から上位3科目を採用します。

採用科目数：2又は3教科3科目（※）

※

1科目100点に換算し、活用します。

地歴・公民のうち、公民から2科目採用はしません。

数学については、高得点の1科目を採用します。

外国語の英語についてはリスニングを含みます。

（リスニング免除許可者を除く）

個別学力検査等

環境学部 小論文、面接

経営学部 小論文、面接

※変更等が生じた場合は随時ホームページで公表します。